

一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会栃木県支部

令和3年度活動報告

支部長 高橋 公

全国心臓病の子どもを守る会栃木県支部の令和3年度の活動について報告致します。

心臓病児者とその家族の幸せのために活動することを目的とする団体ですが、現在の会員数は60名です。

本年度はまず5月に会員総会を開催しまして、この時は役員と一般会員の一部が会場に集まって前年度の振り返りと会計報告や新年度の計画案審議、及び自治医科大学病院の岡先生による医療後援会を実施しました。

例年のように年間の活動計画を作成したものの、長引く新型コロナウイルスの影響で、会食を伴うような皆が集まるイベント（サマーキャンプなど）は中止としました。

その代わり、オンラインのZOOM会議を活用して、7月に他県支部との交流会と医療講演会を、12月に栃木県支部会員によるクリスマス会と医療講演会を実施しました。

オンライン会議は直接顔を合わせての会話はできないため、会場の雰囲気等は味わえないものの、映像を通して元気な表情がわかるし、何より遠くて会場に足を運べなかった人が参加できるという大きなメリットがあります。ネット環境のない人をどう繋ぐかなどの課題はありますが、今後の活動の主力ツールになると思います。

また、会員からの声ということで2点記載します。

1点目は臓器移植関連です。移植を希望してもドナーが少なく、待期期間が長すぎるという問題に対し、守る会本部から国に対し改善希望の陳情を行いました。我々ができることとしては、臓器提供の可否を表示するための意思表示カードを広く配布して啓蒙活動を行いました。

2点目は病児が直面する環境、例えば幼稚園や保育園に通う病児が手術などで長期に休むことになること籍を抜かれてしまうことや、小学校に通うためには看護資格を持つ先生のいる学校という制約があることなど、様々な問題が上がってきたので、今後は会として県や市町村への改善要望を出すなどの活動を行っていきたいと考えております。

今年は新たな生活様式の取り入れを模索しながら、明るく元気に活動していきたいと思えます。新規会員も随時受け付けていますので、よろしく願いいたします。